

平成29年4月

逗子市教育委員会定例会

平成29年4月24日

逗子市教育委員会

会 議 録

平成29年 4月24日 逗子市教育委員会 4月定例会を逗子市役所 5階第5会議室に招集した。

◎ 出席者

教 育 長	村 松 雅
教育長職務代理者	桑 原 泰 恵
教 育 委 員	横 地 みどり
教 育 委 員	塚 越 暁
教 育 委 員	村 上 朝 鼓
教 育 部 長	石 黒 康 夫
教 育 部 次 長 教育総務課長事務取扱	村 松 隆
学 校 教 育 課 長	川 名 裕
学校教育課担当課長	小 野 憲
社 会 教 育 課 長	橋 本 直 樹
図 書 館 長	安 田 清 高
図 書 館 担 当 課 長	鈴 木 幸 子
療育教育総合センター長	早 川 伸 之
療育教育総合センター主幹 兼 学 校 教 育 課 主 幹	河 原 林 薫
教 育 部 担 当 部 長 (子 育 て 担 当)	山 田 隆
教 育 部 次 長 (子 育 て 担 当) 子育て支援課長事務取扱	高 橋 佳 代
子育て支援課担当課長 (子 育 て 支 援 担 当)	中 村 妙 子
子育て支援課担当課長 (青 少 年 育 成 担 当)	石 黒 貫 爾
保 育 課 長	杉 山 正 彦
文 化 ス ポ ー ツ 課 長	阿 万 野 充 代

文化スポーツ課担当課長 翁 川 昭 洋

事務局

教育総務課副主幹 坂 本 周 史

教育総務課主事 吉 井 まどか

◎ 開会時刻 午前10時00分

◎ 閉会時刻 午前11時25分

◎ 会議録署名委員決定 横地委員、村上委員

○村松教育長

会議に先立ち、傍聴の皆様をお願いいたします。傍聴に際しては、入口に掲示されております注意事項をお守りくださるようお願いいたします。なお、報道関係者以外の録音、写真撮影につきましては、許可しておりませんので、御了承ください。また、教育委員会の議決により、秘密会にすべき事項と思われる案件が出されたときには、退場いただく場合がありますので、御了承ください。

○村松教育長

定足数に達しておりますので、ただいまから平成29年逗子市教育委員会4月定例会を開会いたします。

まず初めに、3月23日に開催されました平成29年逗子市教育委員会第1回臨時会において御承認いただいたとおり、4月1日付けをもちまして桑原委員を教育長職務代理者に指名いたしました。どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは会議に入ります。本日の会議日程はお手元に配付したとおりでございます。

会議規則により、本日の会議録署名委員は横地委員、村上委員をお願いいたします。

これより会議日程に入ります。

初めに、本日の審査順序を決めたいと思います。本日の案件のうち、日程第7「報告第10号」は奨学金受給者の氏名等個人情報を取り扱う案件のため秘密会を予定していますので、他の日程を先に行い、最後に報告第10号の審議を行いたいと思います。

お諮りいたします。本日の審議は、日程第6の次に日程第8、日程第9及び日程第10を行い、最後に日程第7の順序で行いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声多数)

御異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

◎日程第1「2月定例会会議録の承認について」

○村松教育長

日程第1「2月定例会会議録の承認について」を議題といたします。

委員にはお手元の会議録をごらんいただくようお願いいたします。

会議録について御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

御異議がないようですので、2月定例会会議録は承認いたします。

横地委員、村上委員は会議録に御署名ください。

◎日程第2「教育長報告事項について」

○村松教育長

では、日程第2「教育長報告事項について」を議題といたします。

私からは、3つの会合について報告をいたします。まず、3月29日に行われました湘南三浦教育事務所管内教育長会議についてです。年度末の会議ということで、平成28年度末・29年度始めの人事についての報告が職員課からありました。それから、本年度実施の教員採用試験についての報告もありました。教員採用試験については、臨時的任用職員の選考方法について一部変更があったという報告がありました。これについては校長会を通して学校のほうにも連絡をいたしました。事故・不祥事についても職員課から話があり、件数としては減っているものの、引き続き不祥事防止について指導等徹底をしていただきたいという報告がありました。引き続きまして、指導課からは平成28年度の研修等の事業報告、29年度の研修の事業計画、それから委託事業についての報告がありました。

その後の情報交換では、各市町の取り組みについての報告があり、主なものとしては茅ヶ崎市が市として保健所を設立するという話と、葉山町が学びづくりハンドブックを作成したという報告がありました。それについては、また回覧等をしていきたいと思っています。本市からは、機構改革等についての報告をいたしました。

2点目は、4月14日、大和市で行われました神奈川県市町村教育委員会連合会総会についてです。まずは、全国市町村教育委員会連合会表彰についてという議題がありまして、山西前教育委員長が8年間の在職ということで、表彰候補者として表彰されるということについて報告がありました。表彰については後日、国のほうで行われますので、それが行われ次第、逗子市に届くということが報告がありました。

そのほか、28年度の事業報告、収支決算、役員改選、それから29年度の事業計画、収支予算案についての審議がなされました。逗子市は、29年度・30年度は監査の役を行いました。それから、各市からの情報交換がまた終了後行われましたが、秦野市から、各市町の文科省の市町村教育委員会研究協議会への参加状況はどのようなかというような問いがあります。参加しているところがいくつかありましたけれども、それぞれの市町によって状況が違うというようなところでした。それから、教育委員さんの学校の個別訪問についてどのような状況

かという質問がいくつかあり、これも市によってそれぞれ情報交換として行われました。葉山町からは教員の負担軽減に取り組んでいる地域はあるかという質問がありましたので、逗子市としても教頭会議等で負担軽減について取り組む予定であるということを報告をいたしました。以上です。

3点目が、同じく4月14日の午後に行われました区市町村教育委員会教育長会議についてです。これは神奈川県教育委員会の主催ですので、県の新年度の事業の報告が主なものでした。県立高校改革の推進について、インクルーシブ教育について、かながわ教育月間について、オリンピック・パラリンピックの教育の推進について等が報告がありました。逗子市の関連内容としては、特別支援学校の居住地交流ガイドラインの一部改正についてという話題がありました。これは現在県立の特別支援学校に在籍している児童・生徒が地域の学校で居住地交流をするときに、年に一、二回というところですが、学年が変わっても引き継ぎができるようなガイドラインを定めるという内容でした。この話がありましたので、私からは、小・中学校に在籍している特別支援学級に在籍している児童・生徒の特別支援学校への交流についても、ぜひお願いしたいということの要望をしておきました。私からは以上です。

今の件について御質問、御意見はありませんか。

○塚越委員

今、教育長からの御報告の中で、2点目の教育委員会連合会総会、逗子市からの報告ということで、教員の負担軽減の取り組みを逗子市でも行っているという御報告があったと思いますが、昨年度のこの場で、業務のスリム化、共有化みたいなことで全体として業務を平準化して負担軽減に取り組んでいるという報告が昨年度前半にあったと思います。それがこの1年でどのような成果というか、状況なのかということと、今年度、それに加えてなのか、その方向で新たな取り組みをされるみたいなことがございましたら、その件に関してもう少し詳しく伺えればと思います。

○村松教育長

教員の多忙化については、業務量その他を見直すということと、それから多忙感を解消するというので、最低、業務による療養休暇とか休職とか、それを新規で出さないようにというのが当面の目標です。具体的には今年度は教頭会議、教頭の業務が中心であるということと、それから教頭が学校全体の業務の把握をしているということと、教頭会議で外部から講師を招いて研修をし、それも年間を通して3回を予定していますが、なるべく早い時期に一度、業務の内容について見直しをすると提言をして、各学校がそれについて取り組んで、

その実践報告をしたり、今後に向けてどういう改善点があるかということ、その3回を連携した話し合いをするということが1つ。それから、違う視点で、教員の休憩時間とか勤務時間とか、あと臨任や非常勤の職務についてとか、そういうものをきちんと理解をすることで業務の適正化をするというのも改善の1つかなというふうに思っています。

あわせて、今、業務の標準化で取り組んでいる電子化とか、そういうものも併用しながら、業務量全体を減らしていかないと難しいと思っています。現在取り組んでいるのが部活動の外部指導者の促進ということで、各学校で今まで外部指導者を探していましたが、学校で外部指導者は希望があるけれども、地域では適材の方が見つからない場合に、教育委員会から体育協会を経由して人材の推薦を依頼するという取り組みを、中学校のほうから希望を募集中です。こういうことも並行して行っています。

○塚越委員

今のお話の前半3点、研修ですとか、教頭先生の研修ですとか適正化、標準化みたいなことのPDCAというか、進捗の確認みたいなものは教頭会議の場で行われるか、あるいはどこか別の場なのか、こういった形で進捗を確認するのかというのが感心があって気になるのが1点と、あと外部指導者の話はすごくいい話なんだろうなと思うんですけど、今、現状ってどのくらい取り入れられていてということが、もしわかればお教えいただくとありがたいです。

○村松教育長

まず、PDCAについては、教頭会の外部からの研修講師の方と打ち合わせをする段階で、3回の外部の方との話が、ある意味、進捗状況の確認と、それから課題の整理になるかなというように思っていますので、そこをベースにしながら、教育委員会全体として1年間を通して、ある程度の方向性を出していきたいと思っています。

それから、外部指導者の現在の状況については、昨年度末、調査をしましたので、現在引き続き同じ方に行っていただく場合もありますが、その方にも県教委が作成した部活動ハンドブックという資料はお渡しする予定でいますので、数の調査はこの新規希望者の調査とあわせて学校にも調査を行っていますので。

○横地委員

今のことで、多忙化についてなのですけども、先日ちょっと私たちが勉強会をしたときに、教育長から校長会でそういうお話をしたいみたいな話がありまして、今その資料を見ながら感じたのですけれども、4月20日にあったのですか。

○村松教育長

はい。

○横地委員

私も久木中学校のそばに関係しているので、いつも7時過ぎに帰るときに、職員室の明かりを見ながら帰り、10時ごろでもついていたりというところがあったのにもかかわらず、21日の夕方7時過ぎに真っ暗だったのですね。あ、珍しいと思ったぐらいだったので、今このスケジュールを見たら、20日に多分そういうお話があって、最終的な退勤の人の管理とかというお話もあったのかな。その効果があったのかしらと、今ちょっと思ったくらいで、4月21日は中学校では何か行事があったのですか。

○村松教育長

多分、学校内の何か教員全員が参加するイベントがあったのかもしれませんが、校長会議では年間を通して学校が、最終退勤職員が、管理職が一番最後というわけではないので、その場合でも管理職は前日誰が何時ぐらいまでいたのか。安全という確認の意味でも把握するようにと話しました。

○横地委員

わかりました。夜も遅くに電気がついていないことを願います。

○桑原委員

県の会議があったということなので、他の市町の情報を伺えればと思うのですが。今ちょっとお話があった多忙化の対策が、もし参考になるような他の市町の事例があれば伺いたかったのと、もう1点は、逗子市も今年度から新教育委員会制度が始まったのですけれども、ほかの市町、県内ではどのような形をそれを取り入れられていて、先行したところが何か成果であるとか課題をもしお持ちであって、そのお話が出ていたようであれば、伺いたいと思ったのですけれども。以上です。

○村松教育長

多忙化防止については、そのときの会議で話があったのは、大和市と秦野市でした。どちらも校務支援システムの導入ということと、それから多忙化解消について話題にして、それについて意識して取り組んでいるというような内容でしたので、新しい内容ということではなく、どこも同じような課題意識を持っているのだなということでした。

それから、新教育委員会制度の移行については、そういう名簿が出た年もありましたけれども、今回はまだ出ていないので、5月の何かの会議で出る可能性があります。またそのと

きには御連絡をいたします。

○石黒教育部長

平成29年逗子市議会第1回臨時会及び第2回臨時会の概要について御報告申し上げます。市議会第1回臨時会は、会期を4月13日の1日間として開催されました。付議事案は、専決処分の報告1件、専決処分の承認についての議案4件及び副議長の選挙のほか、議会人事が上程されました。教育委員会に関する案件はございません。本会議におきまして会期の決定がなされた後、全員協議会が開かれ、新たな幹部職員の紹介にあわせて、赤岩前教育研究所担当課長の年度末の退職が報告されました。本会議再開後、専決処分の4議案は即決で議決されました。

続いて、議会の各役職について選任、選挙が行われました。新しい副議長には長島有里議員が選ばれました。教育民生常任委員は橋爪議員、匂坂議員、根本議員、加藤議員、横山議員、田中議員、眞下議員、八木野議員が選任されました。その後、議会運営委員会、基地対策特別委員及び総合的病院に関する特別委員の選任が行われ、平成29年逗子市議会第1回臨時会は閉会いたしました。

市議会第2回臨時会は、会期を4月21日の1日間として開催され、監査委員に丸山治章議員が選任されました。その後、300床規模の総合的病院誘致の実現に向けた病床数の確保を求める意見書が可決され、閉会いたしました。以上で報告を終わります。

○村松教育長

本件について御質疑、御意見はありませんか。

(「ありません」の声あり)

御質疑、御意見がないようですので、教育長報告事項についてを終わります。

○石黒教育部長

4月1日付の人事異動の報告をさせていただきます。

それでは、4月の人事異動に係る職員の紹介をさせていただきます。この後、日程第3で報告いたします4月1日付けの人事異動について、対象となりました本日会議出席の職員について御紹介をいたします。

まず、市長部局から、翁川文化スポーツ課担当課長（スポーツ・オリンピック・パラリンピック担当）です。次に、教育委員会事務局に移ります。山田教育部担当部長（子育て担当）です。高橋教育部次長（子育て担当）・子育て支援課長事務取扱です。橋本社会教育課長です。安田図書館長です。鈴木図書館担当課長です。早川療育総合センター長です。河原

林療育教育総合センター主幹兼学校教育課主幹、教育研究相談センター所長事務取扱です。中村子育て支援課担当課長（子育て支援担当）です。石黒子育て支援課担当課長（青少年育成担当）体験学習施設長事務取扱です。杉山保育課長です。会議の事務局を務めます教育総務課、吉井主事です。以上でございます。今後ともよろしく願いいたします。

◎日程第3「報告第6号教育委員会職員の人事について」

○村松教育長

では、日程第3「報告第6号教育委員会職員の人事について」を議題といたします。

事務局より報告をお願いいたします。

○村松教育部次長

報告第6号教育委員会職員の人事について御報告申し上げます。

教育委員会職員の人事については、緊急を要したため、逗子市教育委員会教育長に委任する事務等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、別紙のとおり平成29年4月1日付けで教育長の臨時代理により行いましたので、同条第2項の規定に基づき報告し、承認を求めるものです。よろしく願いいたします。

○村松教育長

本件について御質疑、御意見はありませんか。

○桑原委員

人事ということではないのですが、今、人事異動のお話もあったように、機構改革が始まって第1回目の教育委員会定例会になりまして、このような大勢の方に出席いただくということと、あと逗子市でもこういった機構改革は初めてで、こどもセクションをまとめたということでは、委員会の定例会も今後変わっていくと思いますので、ちょっと教育長に急になるのですけれども、そういった意味での今後の教育部として定例会としての方針であるとか、大きいところで連携ということが大きく掲げられていますので、第1回目ということもありますので、そこら辺の決意表明というか、今後に向けてのお話を伺えればと思いますので、よろしく願いいたします。

○村松教育長

機構改革については、昨年度から、早い時期から取り組んでいましたし、それから療育教育総合センターについても12月オープンで既に動いています。この3月、4月については、5階のこのフロアの移転も含めて、市民目線で子どもに関する内容が教育委員会所管になっ

たということでスタートをいたしました。それぞれ担当のセクションの方は本当に大変な、移転もそうですし、それから事務手続もそうですし、時期だったかなと思います。スタートして私のほうから見ている印象では、5階の仕事、それから療育教育総合センターの1、2階、3階の関連もスムーズにいつているかなと思っています。せっき市民目線で、国で言えば厚生労働省の内容と文部科学省の内容と、そういうものが一体となって取り組んでいますので、ぜひ今度はこの半年後、1年後には機構が一緒になったからこそできたというような実績、実績というのは目立つということではなく、そういう実感が市民や保護者や子どもたちの間に少しでも実態ができるようにということで考えていますし、逆に言うと、機構が一緒になったにもかかわらず連携が不十分だということがないように、せっきこの機構ですので、さらに連携を密にしていきたいと思っています。それぞれのセクションで感想を聞いたところによると、やはり同じフロアになったことで、打ち合わせ等が密になったという声も聞きますし、いろいろ模索しながらですが、それぞれいい方向に向かっているなどという実感がありますので、引き続き推進をしていきたいというように思っています。

○桑原委員

ありがとうございます。逗子市の教育委員会も、私も教育委員の期間が長くなったので、いろいろ特色を持つような形で変わってきたと思います。その中で、その他というところで、きょうも学校の定例報告をいただけたと思うのですが、こういった形で多くのセクションが定例会に参加するようになりましたので、ぜひその他という時間に情報交換であるとか御報告をいただくようなことも取り入れていただいて、この定例会自体がより機能的なものになればというふうに思っていますので、まだ私の個人レベルの意見ですけれども、教育委員の勉強会等でもそういったことを検討して、この定例会に生かせればと思っています。以上です。

○村松教育長

ほかにいかがでしょうか。

○村上委員

私が子育ての間に母親同士の話として、子育ての窓口が市役所で1つになるといいねという話が、もう22になる子どもの子育て時代から話していたことなので、こういう形になり、すごく感慨深く感じております。職員の方や、いろいろ御苦勞があると思うのですが、ぜひともこの機会がうまく動いていくように、御苦勞もあると思いますけれども、よろしくお願いたします。

○村松教育長

ほかにいかがでしょうか。

では、他に御意見、御質問がないようですので、報告第6号教育委員会の人事については承認することよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

御異議ないようですので、承認することに決定いたしました。

◎日程第4「報告第7号逗子市県費負担教職員の退職管理に関する規則の制定について」

○村松教育長

次に、日程第4「報告第7号逗子市県費負担教職員の退職管理に関する規則の制定について」を議題といたします。

事務局より報告をお願いいたします。

○村松教育部次長

報告第7号逗子市県費負担教職員の退職管理に関する規則の制定について御報告いたします。

この規則は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）の規定に基づき、逗子市立学校に勤務する県費負担教職員の退職管理について、必要な事項を定めるため制定したものです。なお、基本的な事項は、第2条に規定いたしましたとおり、逗子市職員の退職管理に関する規則（平成28年逗子市規則第34号）を準用するものです。

本件につきましては、事務執行上緊急を要したため、逗子市教育委員会教育長に委任する事務等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、別紙のとおり平成28年4月1日付で教育長の臨時代理により制定いたしましたので、同条第2項の規定に基づき報告し、承認を求めます。

なお、本件につきまして、本来直近の会議において報告すべき案件ではございますが、法改正等による案件の集中により、法制執務に要する手続等に時間を要しましたので、今回の報告とさせていただきます。以上、よろしく願いいたします。

○村松教育長

本件について御質疑、御意見はありませんか。

(「ありません」 の声あり)

御質疑、御意見がないようですので、本件については承認することよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

御異議がないようですので、承認することに決定をいたしました。

◎日程第5「報告第8号逗子市教育委員会教育長の職務代理者の事務委任に関する規則の制定について」

○村松教育長

日程第5「報告第8号逗子市教育委員会教育長の職務代理者の事務委任に関する規則の制定について」を議題といたします。

事務局より報告をお願いします。

○村松教育部次長

報告第8号逗子市教育委員会教育長の職務代理者の事務委任に関する規則の制定について御報告いたします。

この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第13条第2項の規定により、教育長の職務代理者が指名されておりますが、教育長の職務代理を務められる教育委員が非常勤であることから、事務執行の円滑化を図るため、教育長職務代理者が行う事務を常勤である事務局職員に委任することについて必要な事項を定めるため制定したものです。

第2条は委任する事務の範囲を規定しております。

第3条は委任する事務局職員の順位を規定しております。事務分掌規則に基づきます順位といたしまして、1、教育部長、2、教育部次長、3、教育総務課長ということになります。本件につきましては、事務執行上緊急を要したため、逗子市教育委員会教育長に委任する事務等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、別紙のとおり平成29年4月1日付けで教育長の臨時代理により制定いたしましたので、同条第2項の規定に基づき報告し、承認を求めます。以上、よろしく願いいたします。

○村松教育長

本件について御質疑、御意見はありませんか。

(「ありません」の声あり)

念のため部長、次長等が複数の場合の報告をお願いします。

○村松教育部次長

第3条にありますが、事務分掌で定められております教育施策の企画及び調整に関する事

務を所管する部長・次長といたしました。

○村松教育長

ほかよろしいですか。それでは、御質疑、御意見がないようですので、本件については承認することよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

御異議ないようですので、承認することに決定いたしました。

◎日程第6「報告第9号逗子市スポーツ審議会委員の任命について」

○村松教育長

日程第6「報告第9号逗子市スポーツ審議会委員の任命について」を議題といたします。

事務局より報告をお願いいたします。

○翁川文化スポーツ課担当課長

報告第9号逗子市スポーツ推進審議会委員の任命についてを御説明申し上げます。

逗子市スポーツ推進審議会委員の任命につきまして、緊急を要したため、逗子市教育委員会教育長に委任する事務等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、別紙のとおり教育長の臨時代理により委員を任命したので、同条第2項の規定に基づき報告し、承認を求めものです。よろしくをお願いいたします。

○村松教育長

ありがとうございました。5名の委員。本件について御質疑、御意見はありませんか。

○塚越委員

任期中初めてのこの任命で具体的にこの仕事を伺って、今、資料を拝見していますが、推進審議会委員と、あと推進委員協議会というのがあるのですが、ざっくりとで結構ですので、役割というか、どういったことを審議される場で、どういう方々なのかということをお教えいただくとありがたいです。

○村松教育長

スポーツ推進審議会とそのメンバーの中にスポーツ推進委員協議会というのがあるので、その違いですね。

○翁川文化スポーツ課担当課長

逗子市スポーツ推進委員におきましては、スポーツ基本法に基づいた委員ということで、任命されております。職務としましては、スポーツ推進委員においては市民のスポーツの推

進に関し、その分担の地域または事項について職務を担うのですけれども、市民の求めに応じてスポーツの実技の指導を行うこと、市民のスポーツ活動の推進のための組織の育成を図ること、教育委員会、学校、他の行政機関との行うスポーツの行事または事業の実施に係る連絡調整を行うこと、スポーツ団体その他の団体が行うスポーツに関する行事または業務に関し、求める応じること、市民一般に対し、スポーツについて理解を求めること、ということになっております。スポーツ推進審議会の委員におきましては、スポーツ基本法第31条第1項の規定に基づく審議会として、逗子市スポーツ推進審議会を形成しております。審議会においては、スポーツの施設及び設備に関すること、それから一番大きなところは、審議会はスポーツ基本法第35条の規定に基づく教育委員会の諮問に応じてスポーツの推進に関することを調査、審議し、これらのことを教育委員会に建議するということになっております。以上です。

○塚越委員

了解しました。ありがとうございます。

○村松教育長

基本的にスポーツ推進委員は逗子市民と考えてよろしいですね。大まかな人数は。

○翁川文化スポーツ課担当課長

60名今います。

○村松教育長

ありがとうございました。よろしいですか。他に御質疑、御意見はありませんか。

○村上委員

その推進審議会の開催されるのは、どのくらいの頻度で行われているのか、お聞きしたいです。

○翁川文化スポーツ課担当課長

年3回です。

○村上委員

ありがとうございます。

○村松教育長

他に御質疑、御意見はありませんか。

○村上委員

年3回、何月か、もしわかれば、どのくらいにされているのか。開催の何月にされている

か、お決まりでしたらお願いいたします。

○翁川文化スポーツ課担当課長

平成28年度につきましては、6月に1回、9月に1回、2月に1回でした。

○村松教育長

他によろしいですか。では、御質疑、御意見がないようですので、本件については承認することによろしいでしょうか。

(全員異議なし)

御異議ないようですので、承認することに決定いたしました。

◎日程第8「議案第5号平成29年度工事計画の策定について」

○村松教育長

それでは、日程第8「議案第5号平成29年度工事計画の策定について」を議題といたします。

事務局より説明をお願いいたします。

○村松教育部次長

議案第5号平成29年度工事計画の策定について御説明いたします。

平成29年度における1,000万円以上の工事計画は2件でございます。文化財関連工事といたしまして、2件の史跡整備工事を予定しております。名越切通整備事業といたしまして、整備実施計画及び整備実施設計に基づき、まんだら堂やぐら群の中で落盤、毀損のおそれのあるやぐら保存対策並びに崩壊のおそれのある地山を一体化するための工事を行うものです。名越切通につきましては、平成31年度完了を目指しております。

古墳整備事業といたしまして、長柄桜山古墳群第1号墳整備工事を実施いたします。平成26年度からの本工事の内容を踏まえ、昨年度に引き続きまして遺構の毀損防止の盛土工事を予定しており、平成32年度まで継続して工事を進めるものです。

以上で平成29年度工事計画の策定についての説明を終わります。よろしくをお願いいたします。

○村松教育長

本件について御質疑、御意見はありませんか。

○塚越委員

こちらの工事、毎年この時期に工事計画についてというお話がありまして、それで今お話

あったとおり、それぞれ平成31年、平成32年と、5年ぐらいの計画で大きな予算を投じて行っていることだと思うのですけれども、全体としてそれぞれ最終的にどのようなアウトプットというか、成果を目指していて、その後どう活用するか、どうそれぞれの大切なものを施政に生かしていくかといったところのビジョンをお聞かせいただけるとありがたいです。

○橋本社会教育課長

今、塚越委員より御質問のありました件についてお答えさせていただきます。まず、名越切通の整備の関連ですが、現在毀損をしているやぐらの保存工事を行っておりまして、これが今の段階ですと、公式に出している工事計画では平成31年度までかかる予定ですが、ここ数年、さきおとしが25%、おとしが40%、昨年が50%、国庫補助の事業費がカットされている。全国一律なのですが、そういう状態で、最終年度にしわ寄せがよってきている状態です。ですので、最終年度の事業費が大変大きくなることが予想され、それに見合う市の負担分が用意ができればいいのですが、そうでなければ事業はそれに伴って遅滞していくことが予想されていますが、最終年度の状況がまだ見えないものですので、公式には31年度と申し上げています。現在、まんだら堂やぐら群につきましては、年間60日、人を置いて、エリアを区切って、時間を区切って限定公開するというスタイルをとってございまして、年間60日でおよそ1万人の来場者が来ていただいている状態です。今後も今の予定では現状どおりの60日間の限定公開を行っていくことを考えていますが、これ以上の来場者があるようだと、文化財に対して非常に圧力がかかっていくことも想定されますので、検討しなければならないかと思われます。

引き続きまして古墳ですが、古墳は現在、墳丘部分の盛土を行って、墳丘が滑り落ちて流れ落ちてしまうことを防ぐような工事を行っています。こちらは葉山町と同時に進めている工事ですが、同じく平成32年で終了ということで公式にお話しさせていただいているのですが、事業費のカットに伴って最終年度にこちらも寄ってくるのが想定されますので、財政事情によっては後に後に遅れていくことも想定されます。こちらのほうは、まんだら堂と違いまして、常時公開という形で、常に人が横を通過して、最終的には上がれるようにということを考えておるところです。

それから、国から求められているのですが、どちらの史跡についても、整備計画はあるのですけれども、保存活用計画というのをここ数年、国が定めるように求めてきています。この保存活用計画というのは、行政全体でどうして活用していくのかというビジョンについて触れるということと、特に名越はもう整備が始まって10年以上たっています。その間で行わ

れている工事に対して、例えばウッドチップがなくなってしまったであるとか、木製のステップが折れてしまったであるとか、かなり経年劣化が進んでいます。そうしたもののリニューアル整備に、第2期整備を行ったことについては、どこが悪かったのかということを検証して、なお今後どう活用していくのかということ、行政として計画を定めた上で補助金をもらうというスタイルになってくることが想定されますので、今後そういった流れに最終年度が到達してからそういった流れに入っていくことを想定しております。簡単ですが、以上です。

○塚越委員

どうもありがとうございます。今、最後に保存活用計画というお話がありましたけれども、全くもってそこを整えることがすごく大事なのではないかなと、お話を伺っていて思いました。逗子市に残された大事な遺跡ですので、ただ単純に公開して、人がいっぱい来ればいいという話ではないと当然思いますが、それがどうやって後世につないでいくのか、ないしは市の教育だったり市民の気づきに生かしていくかみたいなことをまとめてきちんと、そこに目指して向かっていくことが、これだけのお金を投じて、それが補助金であれ市のお金であれ、ということにおいては、すごく大事なことだと思っておりますので、これからだと思いますが、平成31年・32年度を待たずに、ただ公開するですとか、人が歩けるようにするを超えて、じゃあどういう目的のもとに、どう生かしていくのかということが広く議論できるというのではないかなと、お話を伺っていて思いました。

○橋本社会教育課長

今お話しいたきました点がまさに国のほうからも求められている点で、保存と活用が文化財については車輪の両輪であるということが言われています。こちらのほうにつきましては、文化財によって、その保存のあり方や公開のあり方も、かなり千差万別でございますので、国・県の指導を仰ぎながら、ニーズに応えられるような整備を行っていきたいと考えております。

○桑原委員

今の保存活用計画についてなんですが、現在はそういった計画のないところで、現状に応じて対応をされているという理解ですか。二次的な、先ほどのチップがなくなって、それを増やしているとか。あと、今後保存活用計画をどのような計画で計画を立てられようとしているかという、そのところがもし具体的になられているようだったら、そこら辺をお伺いいたします。

○橋本社会教育課長

名越切通につきましては、保存管理計画というものが都合3回つくられています。この保存管理計画というのは、まず国指定の史跡に指定するときに、どうやって公有化していくか、買い上げていくか、それをどう管理していくかということが求められていて、これが基本的には整備の前段でつくらなければならない行政計画です。かなりの長い年月、当初の指定が昭和40年代の指定から始まっていますので、こちらについては現在に至るまで保存管理計画が2回、それからそのブラッシュアップで別冊を1回つくっていますので、都合3回の冊子をつくって、それに基づいて行っています。ですので、その中で活用計画も名越については策定してございます。その活用計画に基づいて現在行っていますが、今後この保存活用計画をつくっていくんだという国の指導、方針が出たのがつい近年なのです。ですので、今後はまだまだこの新しい計画をつくっていくという事例が少ないものですので、今後はそういう方向へ向かっていくことが予想されますが、名越については活用計画は実際持っていますので、それに基づいて行っています。

また、古墳につきましては、これは平成に入って突然発見されたものなのです。ですので、発見のときに携帯電話のアンテナをつくる、基地局をつくるという話があって、そこを抜開したら古墳が出てきましたというところから始まりましたので、国指定がイコール公有化の前提だったのです。公有化が前提ということは、買い上げが済んでしまってから、買い上げをしてほぼ同時進行だったものですので、保存管理計画をつくる必要はないのですよという言われ方をしていました、当時。もう15年前なのですけれども。ですが、またこれも御時世が変わってきて、保存活用計画をつくっていくのだという御時世になってきましたので、その中で今後はつくっていくことになることは想定されています。こちらにつきましても、整備の基本計画というのがございますので、基本計画の中で活用のあり方についても触れております。ですので、それに基づいて行っている状態です。簡単ですが、以上でございます。

○村上委員

視点が変わるのですけれども、古墳についてなのですが、先日山歩きをしていましたら、散策されている御婦人の方から、ここずっと工事しているけれども、どうなっているのだろうという質問を受けました。葉山のほうから登ってくるときには看板で工事計画が、多分張られていたと思うのです。こちらの桜山というか、蘆花記念公園のほうから登るところには何の掲示もありませんので、小さいものでもいいので、どういう計画が今進んでいるのかという掲示があるといいなと思いましたので、御検討をお願いいたします。

○橋本社会教育課長

わかりました。検討させていただきます。

○村松教育長

ほかによろしいですか。では、議案ですので、御質疑、御意見がないようですので、これより表決に入ります。議案第5号については可決することによろしいでしょうか。

(全員異議なし)

御異議ないようですので、可決することに決定いたしました。

◎日程第8「議案第6号逗子市立図書館協議会委員の任命について」

○村松教育長

日程第8「議案第6号逗子市立図書館協議会委員の任命について」を議題といたします。

事務局より説明をお願いいたします。

○安田図書館長

議案第6号逗子市立図書館協議会委員の任命につきまして御説明申し上げます。

平成29年2月28日をもちまして2年間の任期が満了となりました逗子市立図書館協議会委員につきまして、逗子市立図書館協議会条例第2条の規定に基づき、別紙のとおり新委員の任命をしていただきたく提案するものです。よろしくをお願いいたします。

○村松教育長

5名の委員の案でございまして、本件について御質疑、御意見はありませんか。

(「ありません」の声あり)

御質疑、御意見がないようですので、これより表決に入ります。議案第6号については可決することによろしいでしょうか。

(全員異議なし)

御異議ないようですので、可決することに決定をいたしました。

◎日程第10「その他」

○村松教育長

日程第10「その他」を議題といたします。

その他、議事としてありますか。

○川名学校教育課長

それでは、私から市内小・中学校の4月スタートの様子をお伝えしたいと思います。4月5日、小学校では419名、中学校では378名の新生を迎え、それぞれの学校の新年度がスタートしました。今年度、小学校の児童は全体で2,661名、中学校の生徒は1,114名ということで、小・中8校合わせて児童・生徒数の合計は3,775名、昨年度比マイナス8名ということになりました。教職員につきましては、新規採用教員を小学校で6名、中学校で5名の計11名を迎えました。県立学校や市外からの転入者が5名、市内異動が12名です。また、昇任した総括教諭は6名となりました。

さて、各学校では年度始めのオリエンテーションや身体計測などが行われ、春の遠足や土曜参観などが始まっております。

中学校の入学式では、学校長より新生に対して次のような話がありました。中学校は大人になる準備をするための学校であること、同じ正門をくぐった皆さんは、きょうから新しい仲間であること、いじめやからかいは絶対にあってはならないこと、2、3年生の先輩、学校の教職員、地域の皆さんが1年生をしっかりサポートするので、安心して学校生活を送ってほしい。人はみんな違う。違っていい。違いを認め合える仲間になってほしい。わからないことは恥ずかしいことではない。わからないから頑張ること。あなたのあのときのあの言葉が心の支えになって、あしたも学校に行ける、学校に行きたくなる、そんな人間関係をつくってほしいというような内容でした。

1年生は元気いっぱい中学校生活に少しずつ慣れてきております。また、部活動も仮入部期間が終わり、正式に入部する部活が決定します。2年生は新しいクラスになじみ、下級生を迎えて、少し先輩らしい姿を見せるように頑張っています。5月末の自然体験学習の取り組みも始まりました。3年生は急激に気持ちが成長しているようで、授業に臨む姿勢にも落ち着きとやる気が満ちています。修学旅行に向けての取り組みにも熱が入っております。

続いて小学校です。前回の定例教育委員会以降、3月17日に行われました卒業式について学校長のコメントがありましたので紹介をさせていただきます。小学校6年間の教育課程は長く、さまざまな立場において教職員がつなぎつないでこの日まで、最後の授業となる卒業証書授与式を挙げてきたことは、これにまさる喜びはありませんでした。登校できることの大切さや価値、そして難しさについて、子どもたちを育てていくことが使命とされている私たちは、やりがいと緊張感を再認識いたしました。6年間登校し続けてくれた児童と、それを支えてくださった保護者、地域の皆様に、ただただ感謝の気持ちでいっぱいでした。それに加えて、卒業生の一言スピーチで将来は学校の先生になりたいという児童が数名いて、

そのうちの1人は、この学校の先生のような先生になりたいという発言には、6年間の小学校生活を通じて本校の教員が大切にしている子どもたちに寄り添い、そして温かく見守ってきたことが、あこがれとして思ってもらえたのかなとも思い、私たちのこれからの教育活動に対して大きな励みとなりました。ありがたい通知表をいただいた思いで感激いたしました。

さて、満開の桜のもと、新年度4月がスタートいたしました。入学式、ぴかぴかの1年生のすがすがしい笑顔がとてもすばらしかったです。入学式で「おめでとうございます」の言葉に自然に「ありがとうございます」という返事が1年生から返ってきて、とても温かな式になりました。

また、4月6日には離任式が行われました。学校を去られる先生がお別れの作文を読む児童に対して、ひざを折り、目線を合わせて聞き入る姿がありました。そんな児童と教師のやりとりが初任や経験の浅い先生たちにとって、すばらしい学びの場になったと思います。

新年度に入って、子どもたちは一生懸命に自分の居場所をつくろうと頑張っています。子どもたちの緊張感に、今は安心した環境づくりができるようにと、各学級担任が中心となって、ゆっくり、じっくりと丁寧に寄り添って新年度のスタートを希望の出会いとして味わっているところです。

以上、簡単ですが、市内小・中学校の様子として報告させていただきます。

○村松教育長

ありがとうございました。本件について何か。

○塚越委員

今お話を伺いまして、2点ほどございまして。1つは、もう1カ月ぐらい前になってしまいますけれども、小学校の卒業式ですが、私は逗子小学校の卒業式に出させていただいたのですけれども、今お話にありましたとおり、一言のスピーチが非常にすばらしく感じまして、というのはああいう場で一言言うと、どうしても往々にして似たような言葉がいっぱい出てしまうのではないかなというのを何となく想像していたのですけれども、現場で子どもたち、本当に自分の心に素直に、将来の夢だったり学校の先生方への感謝だったり、御両親への感謝を述べているなというのが伝わってきまして、例えば夢を語る子が多かったのですけれども、まだ夢はないけれども、これから見つけていきたいみたいなことを胸を張って伝えていたり、あとはお寿司屋さんになりたいとか、なりたい職業の幅も非常に幅広くて、伸び伸びと子どもたちが自分自身と向き合って6年間過ごしてきたのだろうなということを非常に感じる場で、心強く思いました。というのが卒業式の感想です。

あと、私も保護者として今、逗子小に3年生と6年生に自分の子どもたちが通っておりますが、この時期やはり何かと、特に在校生は誰々先生になったとか、誰々のクラスはどうのという、子ども同士もそうですし、親のざわつきもいろいろ耳に入ってきます。恐らく先生方も大変緊張していらっしゃる時期かなと思ひまして、子どももそうなんですけれども、ぜひ教育委員会も含めて、先生方の状況というか、学年の状況を早いタイミングでキャッチしてサポートしていくということがこの時期にしていければなというのを、総論ではありますけれども、子ども、保護者の状況を見てすごく感じているところです。以上です。

○村松教育長

ほかに。

○桑原委員

私も卒業式の感想と、あともう1点、質問と、よろしいですか。卒業式は、沼間小学校に出席させていただきまして、非常に感動的なというか、子どもたち一人ひとりが生き生きとされていたことと、あと校長先生初め学校が本当に一体となって卒業式をつくり上げていて、子どもたちから先生のサプライズの場面もあったりして、非常に子どもたちにも力があり、学校としても力を感じる、すばらしい卒業式でした。保護者の方や地域の方はもちろん、在校生の子どもたちにも非常に次につなぐことのできる、いい行事になったなということで、ほんと心強く感じました。

質問としては、今、新学期で、入学をして間もないですので、順調にというお話があったのですが、いわゆる小1プロブレムであるとか、中1ギャップというのが長く言われていますので、これは早川センター長になるのですかね、センター長に伺えればと思うのですが。巡回指導も含めて、やはり新年度というか、新学期に気をつけることがあるかと思ひますので、そんなところで新年度に向けて配慮されていることであるとか、指導されていることなんかがあれば、ちょっと伺いたいと思ったのですけれども。

○早川療育教育総合センター長

今、4月から新しい巡回チームということで回らせていただいております。昨年度の状況から見まして、年度当初はやはり気をつけなければならないことは、児童・生徒の欠席日数です。昨年の状況からすると、特に小学校では最初の4月、5月の欠席が多くなったというところがありました。昨年度から教育相談コーディネーターの先生方、あるいは校長会、教頭会にそういう状況を報告させていただきまして、スタート段階の人間関係づくりですとか、そういうものに配慮していただきたいということを申し上げております。巡回訪問は年度当

初、クラスを見ていくときに子ども、きょうは何人欠席いるかなとかいうところも含めて、気をつけながら巡回してもらおうようにしております。以上です。

○桑原委員

その中で、人間関係づくりという、キーワードだったと思うのですが、一口に人間関係づくりと言ってもいろいろあると思いますし、そういった意味ではこちらも新しい機構改革で、人間関係づくりがポイントかと思うのですが、そういった意味で人間関係づくりで御指導されているポイントであるとか、留意するようなことがあれば伺いたかったのですが、

○早川療育教育総合センター長

人間関係づくりというのは、学校においては2つの側面がありまして、1つは教員、先生と子どもとの関係づくり、もう1つは子ども同士の関係づくり、この2点があると思います。スタート時点で最も関係してくるのは、先生方と子どもとの関係です。先生方が子どもたちに、朝の挨拶から始まって、授業中などに、どういうふうに声かけをしていくのか。ポジティブな声かけをしていただきたいというのは、昨年度つくりました児童・生徒指導についてのチェックリスト及び解説のほうで示してありますので、実践していただけるようお願いしております。以上です。

○桑原委員

ありがとうございます。今、川名課長からお話もあったように、新採用の方もいらっしゃるということなので、逗子市がここ数年つくり上げているこういった生徒指導であるとか支援のポイントをうまく新しい方にもお伝えできるように、学校の中での組織というか、そういったものも充実していただければ、このスタートの時期によりよいスタートが切れるのではないかと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

○村上委員

私も2件ございます。まず、卒業式なのですが、池子小学校のほうに出席させていただきました。少人数ということもあって、一人ひとり、すごく丁寧な卒業式だったと思います。子どもたちの一言発言のときの自信を持った、堂々とした、しかもすがすがしさを感じるような表情がすごく印象的でした。そのときに述べた夢であるとか気持ちが折れることなく、将来につないでいけるよう、私も教育委員として頑張らなければいけないという身の引き締まる思いがしました。

その夢ということなのですが、小学校と中学校の連携はもちろんなのですが、

中学校から高校へ行って、高校で退学してしまう子どもがいることも事実なので、2月の教育委員会の総合教育会議のときにも発言をしたのですが、中学校で何か問題を抱えていたりとか、悩みが多かった子について、高校に行くときにその学校の、学校からのただ書類ではなく、交流があることが望ましいなというふうに常日ごろ思っていますので、その件についてよろしく願いいたします。

○横地委員

私も卒業式、池子小学校のほうに行かせていただきました。皆さんが述べていらっしゃるように、一人ひとりの言葉も個性的で、またそれを表現するような服装で来ている卒業生もいたり、いろいろと思いを込めた卒業式なんだなというのを非常に感じました。また、たまたま地域の小学校の入学式もちょっと参加させていただいて、そこでは非常に小学校への期待感が子どもたちの中にもあり、また変化を楽しんでいる人もいつつ、また不安になりながらも変化がある期待感を持っている子どもたちの姿が見られました。もう一つ思ったのは、やはり年々と式の中に御両親、またはおじいちゃま、おばあちゃままでいらっしゃるような、保護者の方の参加がすごく多くなってきたなということは、小学校、中学校にも関心がそれだけあるのだなというのを保護者の方の変化というのを非常に感じました。

あともう一つは、新しい先生が6人、5人と入ってきたということで、小さい逗子市の中でこれだけ入るということは、多分1学校に1人ぐらい、1人もしくは2人ぐらいなのかななんて、ちょっと大ざっぱに考えていますけれども、例年の流れの中で、定年退職する方は何となく予定でわかり、離任式、着任式もあったということなのですから、この人数という経過がどのぐらいの割合で、去年が何人ぐらいで今年が11人ですか。あと、ほかの地域から途中で入ってきた先生も見受けられますけれども、その辺の流れが少しわかるかと思ひまして、それで多分そのもとに今、逗子市で推進しているインクルーシブ教育または学級づくりですか、そういうことをどういうふうに研修していくのかというのを、多分それを見越して計画をつくられていると思うのですけれども、ちょっと委員のほうでも全体の人の流れの新任の先生が何人ぐらいとかというのがわかればいいかなと思ひました。きょうは表とか多分ないと思うので、わかる範囲で教えていただければと思います。また、わかりやすく表なんかがあると、後々いいかななんて思ったりします。

○村松教育長

人数については、また次回とかで出させていただく。

○川名学校教育課長

そうですね、はい。

○横地委員

ちなみに、今年と去年の採用の人数は、ほとんど変わらないですか。

○川名学校教育課長

そうですね、ちょっと増えました。今年が小学校6人、中学校5人でしたが、去年が小学校が8名で、中学校は2名でしたので、ちょっと中学校が増えた感じがあります。詳しくはまた後ほどお知らせしたいと思います。

○横地委員

お願いします。

○村松教育長

他によろしいですか。

○村松教育部次長

ただいまお話しいただいたとおり、また事務局からお答えしたとおり、新年度を迎えまして、新入学児童・生徒のほかにも新採用の教員もおります。また校長・教頭もかわった学校、多数ございますので、例年7月に行っていた教育委員の皆様による学校訪問を今年度は5月に前倒しで実施をする予定としておりますので、委員の皆様にはよろしく御参加をお願いしたいと思います。

○村松教育長

では、本件についてはよろしいですか。

では、他に。

○石黒子育て支援課担当課長

私のほうから、青少年の善行ほう賞、よい行いをした児童・生徒に対する表彰につきまして、昨年度3月末になりますが、3月29日に沼間小学校の児童6名を表彰いたしましたので、御報告申し上げます。これは側溝にパスモカードを落としてしまった御高齢の御婦人が、たまたま通りかかった低学年の児童に声をかけて拾ってくれないかというようなお話をしたそうです。ところが、側溝のいわゆるグレーチングという網状のふたの中からカードが見えるらしいのですけれども、なかなかとれないというところで、高学年の児童が通りかかって、その児童がふたを持ち上げて、低学年の子どもがパスカードをとってくれたというようところで、拾っていただいた御高齢の御婦人から沼間小学校に丁寧なお手紙が届いたということで、学校のほうからよい行いをしたということで表彰をということで、善行ほう賞の対象

にということでございましたので、6名表彰させていただきました。御報告を申し上げます。
以上でございます。

○村松教育長

市のホームページに載ってますよね、写真。

○石黒子育て支援課担当課長

ホームページ、広報ずしにも載りまして、あとちょうどJ-COMが取材に見えまして、その当日夕方に放送があったそうでございます。

○塚越委員

今のお話、伺いまして、非常にうれしいというか、そういう話が、自然とそういうことができるのもうれしいですし、それがこういう場で、ないしは表彰という形で公になるというか、みんなが知ることはすごくありがたいことだなと思いました。ありがとうございました。

先ほど桑原委員からもありましたけれども、この場、今の学校からの御報告のように、すごく子どもたちの学校現場でのいいことだったり、ないしはこんなことを課題に思っているみたいなことを御報告いただいて、それに関しては私どもがいろいろお話をするというのもすごく有効な時間として使わせていただいております、ぜひ子どもセクションに関しても今お話、御報告いただいたような、すごくこんないいことがあったですとか、こういった課題があるんだけどみたいな話を、ぜひこの教育委員会の定例会の場でやりとりさせていただけると、私どもとしても全体像を把握できて、この機構改革がどう機能しているかみたいなことを理解できますし、その理解をお助けいただく意味合いにおいても、ぜひこういった御報告を次回以降もしていただけると非常にありがたいなと思いました。ありがとうございました。

○村松教育長

他に。

○石黒子育て支援課担当課長

あと、5月5日に、恒例でございますけれども、子どもの日の集いが逗子海岸の東浜のほうでございます。雨が降った場合は6日に順延になりますが、8時30分からお昼ごろまでをめどに、子どもたち10人を単位として砂の芸術をつくることになっておりますので、よろしければ御参加をいただければと思います。よろしく願いいたします。

○村松教育長

どうもありがとうございました。事務局のほうからはよろしいですか。

○村松教育部次長

他には特に予定はございません。

○村松教育長

では、委員の皆様からその他議事として何かございますか。よろしいですか。

私から最後に、先ほどお話があった中学校部活動の外部指導者の状況ですが、資料がありましたので、お答えをいたします。平成28年度に外部指導者を依頼していた部活動ですけれども、逗子中学校が軟式野球とバドミントンの2つ、軟式野球は12名の方が交代で指導していただいている。久木中学校がソフトテニス、卓球、ソフトボールの3種目、沼間中学校はバドミントン、ソフトテニス、水泳、剣道の4種目と。これが28年度に依頼をしている種目でした。以上です。

よろしいですか。ないようですので、以上でその他についてを終わります。

次回の定例会ですが、5月19日（金曜日）午後3時からを予定していますが、決定については改めて委員に御通知いたします。

◎日程第7「報告第10号平成29年度逗子市奨学金受給者の給付決定について」

○村松教育長

日程第7「報告第10号平成29年度逗子市奨学金受給者の給付決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。本件につきましては奨学金受給者の氏名等個人情報を取り扱うため、秘密会にしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数）

御異議なしと認め、秘密会といたします。よって、傍聴をされております皆様及び議案に関係する職員以外の方は退席をお願いいたしますので、暫時休憩をいたします。

（ 休 憩 ）

（ 再 開 ）

○村松教育長

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。これをもちまして教育委員会4月定例会を終了いたします。ありがとうございました。